

(一財) 日本ヘルスケア協会から

発行：日本ヘルスケア協会 事務局

今回は3月9日の前回定時記者会見以降の動きについてご報告いたします。

1. 野菜・果物等の店頭POP表示Pjt. は順調に進捗しており、WEB中心に具体的なスケジュールを進めています

(1) 3月25日(木)午前、内閣官房の「第18回革新的事業活動評価委員会」が開催され、申請者である弊協会「野菜で健康推進部会」(丹羽部会長)から昨年10月5日の認定以降の経緯を関係官庁との折衝、実験企業・店舗との折衝に分けて報告。これに対して、主務大臣側の消費者庁と農水省から意見表明。両省から、実験準備が順調に進んでいることが確認され、また実店舗での実験実施体制に関しても了承されました。

(2) 実験は、おおむね「企業・店舗関係者への説明」→「参加申込書の受領」→「同意勉強会の開催」→「同意書の受領」→「表示勉強会の開催」の手順を踏んで進めており、既に福島、愛知、大阪等の企業に対する同意勉強会を終え、岐阜、埼玉、北海道、徳島、茨城等の企業に対する勉強会の日程を調整中です。臨店してのPOP表示実験は連休明けのスタートを予定しています。

(3) 生活者・消費者に向けた野菜摂取の啓発ムック本の制作は取材・原稿執筆・編集制作を終え、最終校正の段階にあります。近々、まず関係者向けの第1版が出版されます。

(4) 野菜・果物のやさしいイメージキャラクター制作は、著名デザイナーに対する部会側の概要説明を終え、4月15日の次回部会でデザイナー側からコンセプト提示が行われます。

(5) 同部会では、2025年大阪・関西万博への取り組みも企てており、部会構成員から万博協会に対して、「共創チャレンジ」登録書を提出したところです。野菜・果物等の店頭POP表示の取り組みが、2025年の万博では大きく花開くことを念願しています。

2. 日本ヘルスケア協会関係者からこの1年間に4人の学位取得者が誕生しました

(1) 野呂瀬崇彦氏：JAH1在宅感染症予防部会に所属され、この3月まで北海道科学大学薬学部准教授を務めてこられましたが、2020年2月28日、名古屋大学から博士(教育学)を授与されました。2021年4月より帝京大学薬学部教授に就任されました。

(2) 小原道子氏：JAH1理事、在宅感染症予防部会・在宅介護部会部会長・フレイル部会副部会長等を務められ、合わせてウエルシアHD会長付・地域連携推進部長、岐阜薬科大学特任教授を務めてこられましたが、2020年3月10日、岐阜薬科大学から博士(薬学)を授与されました。2021年4月より帝京平成大学薬学部教授に就任されました。

(3) 新井卓二氏：JAH1健康経営推進部会副部会長を務められ、合わせて山野美容芸術短期大学特任教授を務めてこられましたが、2020年9月25日、大阪大学から博士(学術)を授与されました。2021年4月より同大学専任教授に就任されました。

(4) 吉田智氏：JAH1在宅感染症予防部会副部会長を務められ、合わせて横浜市立大学医学部助教を務めてこられましたが、2021年3月15日、星薬科大学から博士(薬学)を授与されました。合わせてこの度横浜市立大学学長奨励賞を授与されました。また、4月からは同大学講師に就任されました。

3. 部会・研究会の動き

(1) 健康まちづくり部会・準備会はあるべきまちづくりのモデルを、「中野地区」に設定し、地元大学当局、学生、区役所、団体、実力者等に働き掛けて構築することになりました。

(2) 生き生きライフ(フレイル対策)部会は、急遽JAH1の出展が決まった「健食原料・OEM展」のフレイルストリートに構成員各社のコンテンツを展示することになりました。

(3) ペットとの共生によるヘルスケア普及推進部会は、コロナ禍でのペット飼育普及啓発ビデオの制作に取り組み、4月8日に録画収録を終えました。

(4) 健康経営推進部会は(株)TATAMI・高原良社長のワークプレイス講演会を開催しました。